

取組点検指標を用いた取組確認結果（尾張地域）

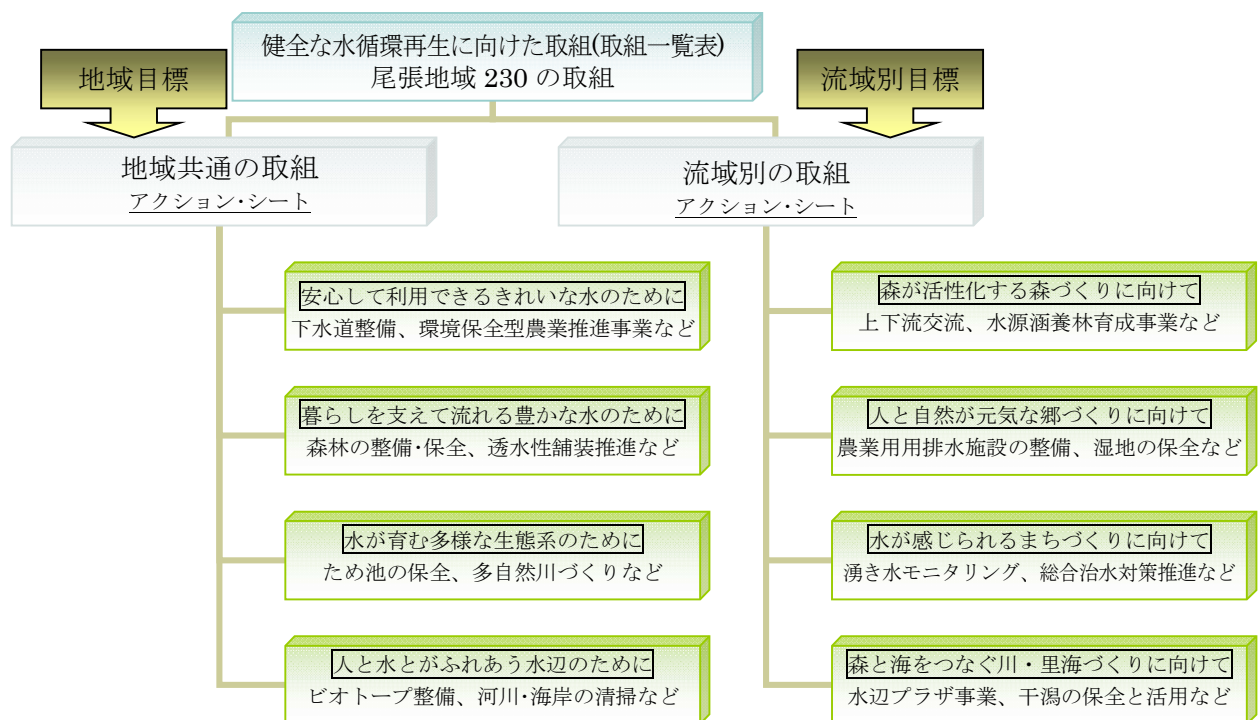
1 背景

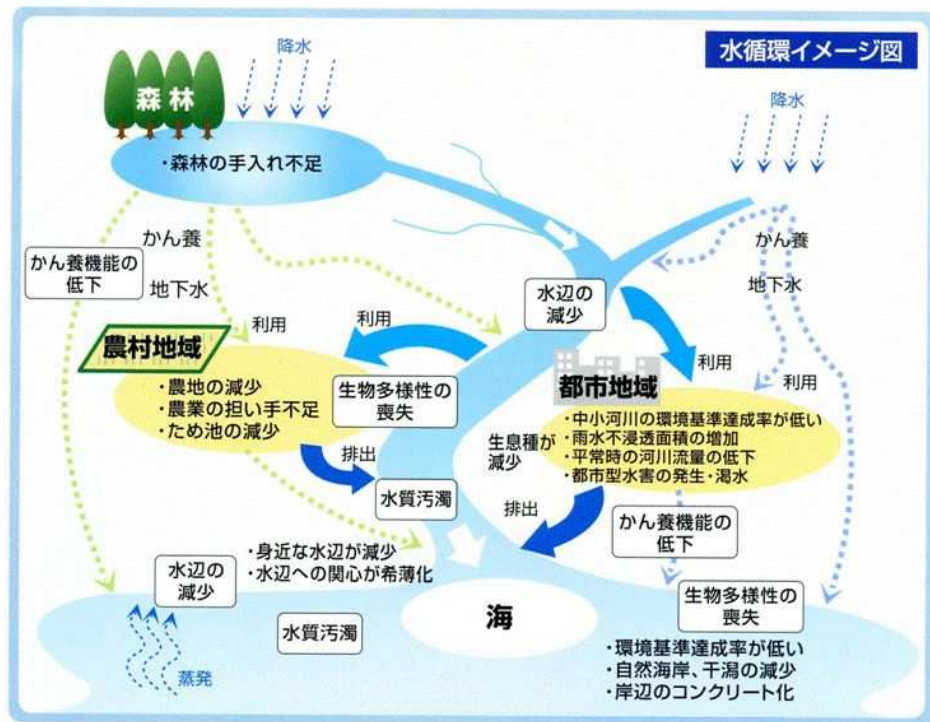
尾張地域水循環再生地域協議会では、行動計画の進捗状況を把握・点検するため、2008 年度に「取組点検指標」を取りまとめ、2009 年度から取組状況の確認を行っています。

「取組点検指標」は、地域で広く実施されている基盤的な取組である「地域共通の取組」と、地域に根ざした取組である「流域別の取組」が設定されています。

さらに、「地域共通の取組」は、水循環の機能である「きれいな水」、「豊かな水」、「多様な生態系」及び「ふれあう水辺」の 4 項目が、「流域別の取組」は、水循環再生に向けた取組テーマである「森づくり」、「郷づくり」、「まちづくり」及び「川、里海づくり」の 4 項目が設定されています。

【取組点検指標の概念】

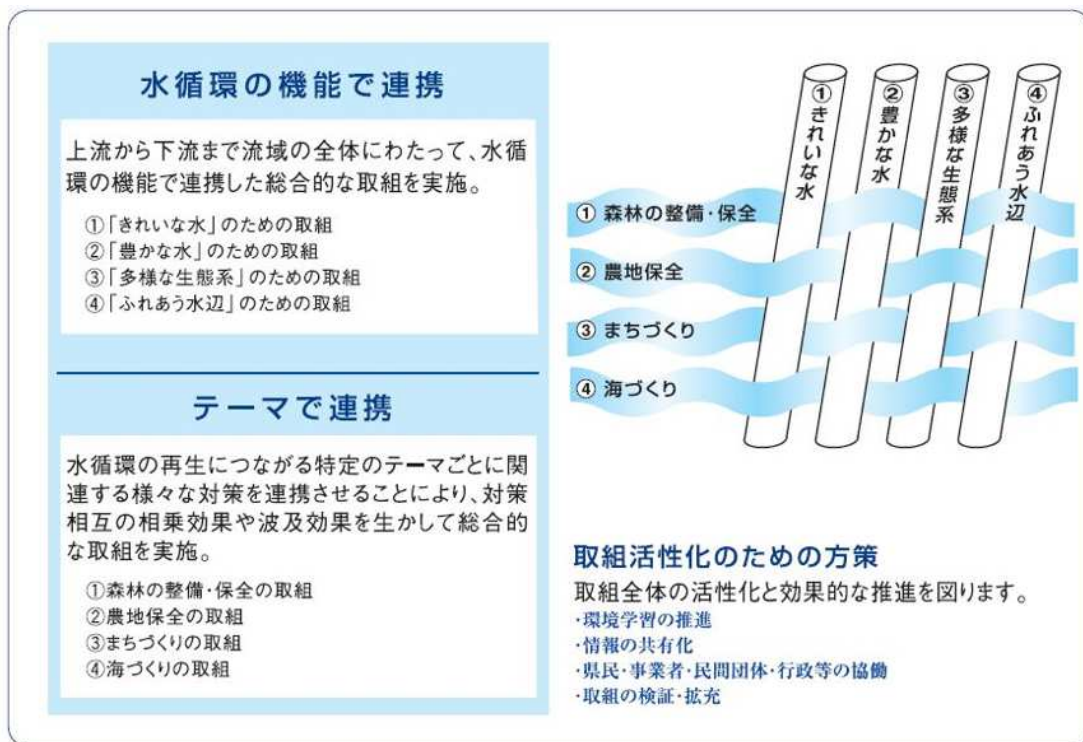




水循環のイメージ

2 取組実績（2022年度）

- 尾張地域水循環再生地域協議会構成員 53 団体により、健全な水循環機能を取り戻すため様々な取組が実施されました（取組集計結果は別表参照）。
- 地域共通の取組については、「きれいな水」の代表的な取組である、生活排水処理施設の整備（下水道の整備等）が進んだことにより、汚水処理人口普及率が年々上昇しています。また、下水道施設の高度処理の導入も進んでいます。
- 流域別の取組については、清掃活動や森林の整備、貯留浸透施設の設置などが実施されています。



健全な水循環を取り戻す取組の方向性

3 地域共通の取組の進捗確認

水循環再生行動計画（第4次）では、取組の進捗状況が示せるよう、地域共通の取組に目標値が設定されています。

（進捗状況）

- ・生活排水処理施設の整備は、目標年度(2030)に向け整備が着実に進んでいます。
- ・雨水浸透施設等の設置や透水性舗装の整備、ため池の保全などは、継続的に実施されています。
- ・海域の環境基準の達成率は、目標を達成しませんでした。

4 尾張地域（流域別を含む）の取組点検指標及び取組実績（詳細）

・各取組の進捗状況は別表のとおりです。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度まで中止又は規模縮小された取組について、取組が再開され以前の実施レベルに戻りつつある傾向が見られます。

尾張地域 地域共通の取組点検指標及び取組実績

めざす姿	指標とする取組 取組内容	実績									目標値	目標年度	指標の説明									
		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				2022年度								
きれいな水	生活排水処理施設の整備 汚水処理全体 ・下水道、集落排水、合併処理浄化槽など地域の実情に応じた汚水処理施設の整備により、生活環境の改善、公共用水域の水質保全を図る。	汚水処理人口普及率(%)									汚水処理人口普及率(%)	100%	2030	汚水処理人口/行政人口×100								
	88.0%	88.9%	89.2%	90.1%	90.5%	91.3%	91.6%	92.0%	92.4%	92.9%												
	下水道の整備 ・生活環境の改善、公共用水域の水質保全のため下水道整備を推進する。	下水道普及率(%)									下水道普及率(%)	97.7%	2030	下水道処理人口/行政人口×100								
	76.1%	76.9%	77.6%	78.4%	79.2%	80.1%	80.5%	81.1%	81.6%	82.0%												
	高度処理施設の導入(下水道整備の内) ・伊勢湾と三河湾の富栄養化を防止するため、下水道施設の高度処理化を行う。	高度処理人口普及率(%)									高度処理人口普及率(%)	100%	2025	高度処理人口/行政人口×100								
	22.6%	24.4%	25.0%	25.6%	30.4%	31.0%	30.2%	32.2%	32.6%	32.9%												
	農業集落排水施設の保全、管理 ・農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理する施設を保全、維持し、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持、及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全を図る。	農業集落排水処理人口普及率(%)									農業集落排水処理人口普及率(%)	1.0%	2030	農業集落排水処理人口/行政人口×100								
	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.0%	1.0%	0.9%	0.9%												
	合併処理浄化槽の設置 ・既設の単独処理浄化槽について、地域の実情に応じ、合併処理浄化槽への転換の促進を図る。併せて窒素、リンが削減できる高度処理型の浄化槽の普及を推進する。	合併処理浄化槽処理人口普及率(%)									合併処理浄化槽処理人口普及率(%)	—	—	・合併処理浄化槽設置済人口/行政人口×100 ・合併処理浄化槽基数/全浄化槽基数×100								
	10.6%	10.8%	10.3%	10.4%	10.2%	10.0%	9.9%	9.8%	9.8%	9.8%												
										合併処理浄化槽の基数割合(%)	合併処理浄化槽の基数割合(%)	100%	2030									
										32.0%	33.2%	34.3%	36.3%	37.6%	38.6%	39.5%	40.2%	41.3%	42.1%			
コミュニティプラントの整備 ・コミュニティプラントの整備及び適正な維持管理を推進する。	コミュニティプラント処理人口普及率(%)									コミュニティプラント処理人口普及率(%)	0.13%	2030	コミュニティプラント処理人口/行政人口×100									
0.1%	0.1%	0.1%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%	0.13%												
河川等公共用水域水質監視 ・公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施する。	河川(BOD)の環境基準達成率(%)									河川(BOD)の環境基準達成率(%)	100%	毎年	・河川BODは尾張地域のみ の環境基準達成率									
93.3%	100%	100%	93.3%	100%	100%	86.7%	100.0%	100%	100%	100%												
											海域(COD)の環境基準達成率(%)											
25%	25%	75%	50%	25%	50%	25%	50%	25%	25%	25%	100%	毎年	・海域CODは伊勢湾(狭義)のみ の環境基準達成率									
水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数									
27箇所	34箇所	29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	—	—	28箇所													
											延べ参加人数(人)											
994人	2,122人	1,290人	2,122人	2,223人	1,768人	4,277人	—	—	1,016人													
流域モニタリング一斉調査 ・住民と行政が連携、協働し、森から海まで流域全体を視野に入れた水環境に関するモニタリングを実施する。	実施箇所数									実施箇所数	前年増	単年	流域モニタリング一斉調査の実施箇所数、延べ参加人数									
60箇所	54箇所	88箇所	89箇所	91箇所	95箇所	93箇所	92箇所	93箇所	84箇所													
											延べ参加人数(人)											
457人	421人	660人	592人	648人	592人	371人	289人	274人	399人													
伊勢湾再生推進会議(関係機関との連携強化) ・伊勢湾とその流域の再生のための行動計画の策定と推進、各事業主体の施策の実施、河川・湖沼・海岸等での水質調査、簡易水質テスト、ごみ調査、生物調査、清掃活動の実施	施策実施状況(件)									施策実施状況(件)	継続実施	継続実施	各機関の施策実施状況									
205件	215件	217件	218件	219件	219件	219件	219件	219件	219件	221件												
河川・海岸の清掃 ・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	実施回数(回)									実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数									
1,028回	842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回													
											実施箇所数											
242箇所	224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所													
											延べ参加人数(人)											
67,749人	68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人													

めざす姿	指標とする取組	実績										目標値	目標年度	指標の説明	
	取組内容	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度				
豊かな水	森林整備の促進	間伐面積 (ha)										間伐面積 (ha)	4,000ha (県域)	2016~2020	間伐を実施した面積
	・森林が有する水源の涵養などの多面的機能を十分に発揮させるため、森林の適切な保全管理を行う。	133ha	141ha	105ha	109ha	19ha	21ha	30ha	25ha	40ha	19ha				
	雨水浸透施設等の設置(浄化槽の転用を含む)	雨水貯留施設の設置数										雨水貯留施設の設置数	継続実施	単年	・構成員が施工した公共施設等における雨水貯留施設の設置数 ・地域住民が行う雨水貯留浸透施設(浄化槽転用貯留槽、雨水貯留浸透施設、雨水浸透ます、雨水浸透管・側溝、透水性舗装など)の設置に補助した件数
	・降雨時における雨水流出抑制を図るにより河川などの洪水を軽減するとともに、公共下水道接続時に不用となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用することで、雨水の有効利用及び地下水の涵養を図る。	341箇所	324箇所	214箇所	204箇所	65箇所	98箇所	94箇所	90箇所	95箇所	89箇所				
		雨水貯留浸透施設設置補助件数										雨水貯留浸透施設設置補助件数	継続実施	単年	
		612件	526件	319件	286件	149件	105件	132件	117件	121件	229件				
	透水性舗装の推進										整備面積(m ²)	継続実施	単年	構成員が施工した透水性舗装の面積	
・雨水を地中に浸透させ、都市の水循環をより自然なものに近づけ、雨水流出抑制と地表面の温度低下によるCO2削減など環境に配慮したまちづくりを行う。	90,193m ²	68,962m ²	70,606m ²	68,705m ²	59,342m ²	36,451m ²	28,399m ²	52,463m ²	62,013m ²	36,012m ²					
	ため池の保全										整備箇所数	継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数	
・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	44箇所(9箇所継続)	45箇所(6箇所継続)	25箇所(16箇所継続)	36箇所(21箇所継続)	28箇所	26箇所	25箇所	26箇所	30箇所	37箇所					
多様な生態系	多自然川づくり	整備延長(km)										整備延長(km)	継続実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4km				
	ため池の保全(再掲「豊かな水」)	整備箇所数										整備箇所数	継続実施	単年	構成員が整備したため池の箇所数
	・近年の都市化の進展などによりため池を取り巻く環境の悪化や、ため池の減少など様々な課題に対応するため、県が策定した「愛知県ため池保全構想(H19.3)」に基づき、ため池が持つ多面的機能を維持・増進する。	44箇所(9箇所継続)	45箇所(6箇所継続)	25箇所(16箇所継続)	36箇所(21箇所継続)	28箇所	26箇所	25箇所	26箇所	30箇所	37箇所				
	ビオトープ整備	整備箇所数										整備箇所数	継続実施	単年	構成員が整備したビオトープの箇所数
	・動植物の多様な生息場所を確保することにより、地域環境の向上と人間と自然との共生を図る。	8箇所	4箇所	5箇所	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	0箇所				
	水生生物調査(再掲「きれいな水」)	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	水生生物調査の実施箇所数、延べ参加人数
	・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	27箇所	34箇所	29箇所	38箇所	47箇所	33箇所	38箇所	-	-	28箇所				
		延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年	
		994人	2,122人	1,290人	2,122人	2,223人	1,768人	4,277人	-	-	1,016人				
	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数	
・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	1,028回	842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回					
	実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年		
	242箇所	224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所					
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	67,749人	68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人					
ふれあう水辺	多自然川づくり(再掲「多様な生態系」)	整備延長(km)										整備延長(km)	継続実施	単年	県内全域での実績
	・河川全体の営みを視野に入れ地域の歴史文化との調和に配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出する。	5km	7.6km	3.3km	1.0km	0.9km	0.9km	1.3km	2.2km	4.0km	4km				
	河川・海岸の清掃(再掲「きれいな水」)	実施回数(回)										実施回数(回)	前年増	単年	構成員が主催する河川又は海岸の清掃活動の実施回数、実施箇所数、延べ参加人数
	・きれいな川と海を次世代へ残すために地域住民・自治体・国が一体となって清掃活動を行う。また、河川、水路及びため池の環境を守り向上させるために、啓発活動と美化活動を行う。	1,028回	842回	851回	869回	781回	590回	616回	646回	660回	661回				
		実施箇所数										実施箇所数	前年増	単年	
		242箇所	224箇所	196箇所	181箇所	179箇所	88箇所	80箇所	68箇所	93箇所	114箇所				
	延べ参加人数(人)										延べ参加人数(人)	前年増	単年		
	67,749人	68,852人	56,122人	52,811人	44,281人	20,757人	22,615人	8,140人	8,722人	16,278人					

尾張地域 流域別の取組点検指標及び取組実績

流域名	テーマ区分	指標とする取組 取組内容	実施機関名(構成員名)	実績									
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
日光川等流域	森づくり	なごや西の森づくり 「なごや西の森づくり計画書」に基づき、市民(伊田川みどりの夢くらぶが)、企業、行政の協働で「なごや西の森づくり」を推進する。 ・森の成長にあわせた森の手入れ、森や水辺の観察、調査、クラフトづくり等森での体験イベントを実施する。	名古屋市長	市民の参加者数			市民の参加者数						市民の参加者数
				3,180人	4,000人 <small>(取組本年度)</small>	3,500人							
		3,600本	348本	100本	3,400人	1,500人	3,156人	2,157人	1,864人	1,602人	1,546人		
	掘づくり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	まちづくり	合流式下水道の改善 ・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、遡集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	名古屋市長	実施内容									
			【一宮市】 遡水管の増強 3箇所 【一宮市】 平成25年度で合流式下水道の改善は終了 【津島市】 雨水貯留施設設置済(平成25年度で事業完了)	【一宮市】 平成25年度で合流式下水道の改善は終了 【津島市】 雨水貯留施設設置済(平成25年度で事業完了)									
			実施内容										
			実施内容										
			実施内容										
		浄化槽の適切な維持管理 ・浄化槽の適切な維持管理について、啓発を行う。	あま市長	実施内容									
		合併処理浄化槽の設置促進 ・浄化槽を設置することにより生活環境の悪化を防止し、水質浄化を図る。 ・町内を「対象地域」と「特別地」に分けて合併処理浄化槽の設置の推進を行う。	あま市長	実施内容									
		水質環境目標値市民モニタリング ・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。	名古屋市長	実施内容									
		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	流域市長	実施内容									
		三宅川の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	稲沢市長	実施内容									
		大江川・墨江川の清掃活動 ・河川の清掃を行う。	あま市長	実施内容									
		墨江川の清掃活動等 ・河川の清掃を行う。	墨江町長	実施内容									

【課題】
○全副に単調な堤岸であることから、自然に配慮した多自然川づくりが必要である。
○農地の保全と市街地における雨水浸透施設など地下水かん養の充実に必要である。
○河口域の大規模なコンクリート護岸は生物の生育・生態環境を形成していることから、これらの保全が必要である。

【目標】
立田園や街など、周辺環境と調和した水辺景観の創造・維持
○自然や親水性に配慮した川や水路の整備と清掃など水辺環境の改善による、人に親しみやすい水辺や景観を維持
○下流域に群生しているコンクリート護岸など、この流域に重要な水辺の自然の保全

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名(構成員名)	実績										
		取組内容		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
日光川等流域	川・里海づくり	大江川クリーン作戦【2022終了】 ・河川の清掃を行う。	一宮市	実施回数(回)									実施回数(回)	
				1回	1回	雨天中止	1回	1回	1回	1回	中止	中止	—	
				実施箇所数									実施箇所数	
				1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	雨天中止	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	1箇所(2.0km)	—	—	—
				約800人		約800人	雨天中止	約800人	約800人	約600人	約600人	—	—	—
				観水施設面積(ha)									観水施設面積(ha)	
				1ha	1ha	1ha	0.2ha	—	—	0.1863ha	—	0.1863ha	—	
		整備箇所数									整備箇所数			
		1箇所	1箇所	1箇所	—	—	—	—	—	—	—			
		モニター登録人数									モニター登録人数			
		148人	175人	175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季:35グループ142名、 冬季:34グループ140名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	139人	140人			
木曾川・庄内川等流域	森づくり	水資源確保推進事業	愛知用水土地改良区	整備面積(ha)									整備面積(ha)	
		・育樹祭でヒノキの間伐等を行う。	0.4ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	—	0.02ha	0.02ha	—	0.02ha	—		
	細づくり	流域連携	名古屋市	参加人数(人)									参加人数(人)	
		・水源保全の大切さを理解するため、市民などとともに上流域で植樹や間伐などの保全活動を行う。	134人	120人	85人	88人	87人	101人	151人	0人	39人	59人		
	まちづくり	総合治水対策の推進【2019終了】	扶桑町	新築件数									新築件数	
		・宅地化が進み、雨水不透透面積が増大したことから、洪水対策と環境への負荷軽減を目的として、水田の理立を防止するための助成を行う。	245件	245件	238件	380件	364件	376件	365筆/226人	—	—	—		
	まちづくり	自然生体回復推進事業	岩倉市	実施者数(人)									実施者数(人)	
		・庄内川は河川の増水・渇水による生物の生育の悪化が懸念されているので、環境の整備を図るべく、自然生体回復推進事業を実施し、自然生体の生育環境の改善をはかる必要がある。	9,206人	9,716人	9,733人	9,844人	9,759人	—	8,913人	7,539人	9,124人	7,932人		
	まちづくり	湿地・灌原の保全	春日井市	実施回数(回)									実施回数(回)	
		・除伐・下草刈りなど湿地・灌原の保全整備を行う。	2回	—	1回	1回	1回	1回	1回	2回	2回	2回		
まちづくり	合流式下水道の改善	名古屋市 事業完了 一宮市	実施内容									実施内容		
	・合流式下水道の改善のため、吐き口対策スクリーン、道集管、雨水貯留施設等の設置を行う。	【名古屋市】 ・せりょう建物除去装置:1ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:3ヶ所(完了1、整備中2) ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:3ヶ所(完了1、整備中2) 【一宮市】 雨水貯留施設等の設置 1箇所	【名古屋市】 ・せりょう建物除去装置:3ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーンの目幅縮小:2ヶ所(完了) ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(完了1、整備中1) 【一宮市】 平成25年度で合流式下水道の改善は終了	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:2ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:3ヶ所(整備中)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:2ヶ所(整備中)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設 1箇所(整備中) ・簡易処理高度化施設 4箇所(整備中2、完了2)	【名古屋市】 ・雨水貯留施設 1箇所(整備中) ・簡易処理高度化施設 2箇所(整備中1、完了1)	【名古屋市】 雨水溜水池の建設 1箇所 簡易処理高度化施設の設置 1箇所 ごみ除去装置の設置 7箇所 雨水スクリーンの目幅縮小 2箇所(整備中)	【名古屋市】 簡易処理高度化施設の設置 1箇所(整備中) ごみ除去装置の設置 10箇所 雨水スクリーンの目幅縮小 1箇所(整備中)	【名古屋市】 簡易処理高度化施設の設置 2箇所(整備中) 雨水スクリーンの目幅縮小 3箇所(整備中)	【名古屋市】 簡易処理高度化施設の設置 3箇所(整備中)			

流域名	テーマ区分	指標とする取組		実績												
		取組内容	実施機関名(構成員)	実績												
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度			
木曾川・庄内川等流域	まちづくり	特定都市河川治水対策対策等に基づく取組		実施内容												
		<ul style="list-style-type: none"> ・新川流域において、流域水害対策計画に基づき総合治水対策を推進。 ・流域対策として雨水貯留浸透施設の設置を行う。 		名古屋、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、碧南市、清須市、北名古屋市、豊山町、大口町、扶桑町、あま市、大治町、愛知県(※報告機関: 南河川課)	貯留施設: 85,264㎡ 透水性舗装: 115,020㎡ 浸透トレンチ: 1,662m 浸透柵: 266個	貯留施設: 17,467㎡ 透水性舗装: 158,113㎡ 浸透トレンチ: 1,607m 浸透柵: 159個	貯留施設: 13,414㎡ 透水性舗装: 106,615㎡ 浸透トレンチ: 1,450m 浸透柵: 121個	貯留施設: 18,035㎡ 透水性舗装: 120,787㎡ 浸透トレンチ: 1,886m 浸透柵: 133個	貯留施設: 27,613㎡ 透水性舗装: 125,854㎡ 浸透トレンチ: 2,701m 浸透柵: 267個	貯留施設: 55,975㎡ 透水性舗装: 139,412㎡ 浸透トレンチ: 1,178m 浸透柵: 94個	貯留施設: 42,419㎡ 透水性舗装: 172,037㎡ 浸透トレンチ: 2,148m 浸透柵: 113個	-	-	-	-	-
		水質環境目標値市長モニタリング(再掲)		名古屋市	148人	175人	175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季: 35グループ142名、冬季: 34グループ140名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	139人	140人		
		湧き水モニタリング		名古屋市	43人	34人	34人	34人	35人	33人	33人	10グループ41名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	47人	47人		
		遊歩道・サイクリングロード整備事業		一宮市、江南市	実施内容											
		<ul style="list-style-type: none"> ・堤防及び高水敷等において、遊歩道・サイクリングロードを整備する。 		【一宮市】 ・親水施設面積: 2.51ha ・整備箇所数: 1箇所	【一宮市】 ・親水施設面積: 0.45ha ・整備箇所数: 1箇所	【一宮市】 ・親水施設面積: 0.26ha ・整備箇所数: 1箇所	【一宮市】 ・木曾川沿川緑地整備: 0.27ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.14ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.20ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.22ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.26ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.36ha	【一宮市】 ・青木川河川敷公園: 0.43ha			
		矢田川河川緑地整備事業		稲沢市	整備面積 (ha)											
		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な水辺の親水性の向上づくりを図るため、矢田川河川敷の散策路整備を推進する。 		-	0.08ha	0.126ha	0.094ha	-	0.10ha	0ha	0.05ha	0ha	0ha			
		川・里海づくり	堀川の総合整備		堤岸整備延長(m)											
			<ul style="list-style-type: none"> ・「うるおいと活気の都市軸・堀川」を再びよみがえらせる」という目標を達成するため、堀川でマイタウン・マイリバー堀川整備事業を推進する。 ・また、健全な水環境系の構築が重要であることに鑑み、生物多様性の確保と人と自然の豊かな触れ合い活動の場の確保を目的として、水質及び水量の改善を図る。 		名古屋市	9,955m	10,504m	10,922m	11,385m	11,882m	40%	41%	45%	48%	74%	
	親水護岸の整備		庄内川河川事務所	整備箇所数												
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民が水辺に近づいたり、子供達が水辺で遊んだり出来るようにするための親水性の護岸の設置を図る。 ・水辺の楽校、総合学習の会場、水生生物調査の場としての整備。 		1箇所	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-				
	河川環境整備事業(中川運河緑地)		名古屋港管理組合	緑地整備面積(ha)												
	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の貴重な水辺空間を活用して、人々が水辺に近づき、憩うことのできる空間として、港と都心を結ぶ快適な水辺環境軸を形成するため、中川運河において緑地を整備する。 		約3.8ha (H25までの累積整備面積)	約3.9ha (H26までの累積整備面積)	約3.9ha (H27までの累積整備面積)	約3.9ha (H28までの累計整備実績)	3.9ha	3.9ha	3.9ha	3.9ha	4.3ha	4.3ha				
	河川浄化施設の運転・管理		名古屋港管理組合	年間処理量(m)												
<ul style="list-style-type: none"> ・中川口地区においては、市街地の貴重な水辺空間として、水際遊歩道等の緑地が整備されているが、その前面水域の環境向上を図り快適な水辺空間を創出するため、水質浄化施設により曝気を実施。 			約140万㎡	約140万㎡	約140万㎡	約140万㎡	約140万㎡	約140万㎡	約140万㎡	約140万㎡	約140万㎡	140万㎡				
中川運河水質改善事業		名古屋港管理組合	整備状況													
<ul style="list-style-type: none"> ・中川運河の水循環を促進するため、「中川運河再生計画」を策定し、松重ポンプ所の改修、高橋水処理センターの高度処理水の活用、並びに貧酸素化を抑制するための堀止深埋戻し(覆砂)などの水質改善事業を実施。 		実施設計	工事着手 (高度処理水の活用開始)	松重ポンプ所改修中	松重ポンプ所改修中	松重ポンプ所改修中	松重ポンプ所改修中	松重ポンプ所改修中	松重ポンプ所改修中	松重ポンプ所改修中						
庄内川・矢田川の環境整備活動		実施回数(回)	1回	5回	-	2回	-	-	-	-	-					
<ul style="list-style-type: none"> ・河川の清掃を行う。 		実施箇所数	1箇所	5箇所	-	1箇所	-	-	-	-	-					
		参加者数(人)	50人	30人	-	106人	-	-	-	-	-					

流域名	テーマ区分	指標とする取組 取組内容	実施機関名(構成員名)	実績								
				2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
木曾川・庄内川等 流域	川・里海づくり	大山川クリーンアップ行事【2019終了】	(大山川を愛する市民の会) 2019年度まで	延べ参加人数(人)			実施回数(回)					
				1,682人	1,760人	1,696人	1回	1回	-	-	-	-
		・河川の清掃を行う。	ごみの量(kg)			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数				
			1,770kg	2,300kg	212kg	13箇所	15.0km	-	-	-	-	
		五条川等の清掃活動	大山市	延べ参加人数(人)			実施回数(回)					
				1,652人	1,568人	-	-	-	-	-	-	
		・河川の清掃を行う。	実施箇所数			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数				
			1回	3回	3回	3回	-	1回	1回	1回	14回	44回
		クリーンアップ五条川	岩倉市	延べ参加人数(人)			実施回数(回)					
				500人	1,640人	2,950人	2,950人	-	663人	500人	-	53人
		・河川の清掃を行う。	実施箇所数			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数				
			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-	-	-	-	-	1回
		新川等の清掃活動	清須市	延べ参加人数(人)			実施回数(回)					
				約750人	約800人	800人	800人	-	-	-	-	-
		・河川の清掃を行う。	実施箇所数			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数				
			2回	2回	2回	2回	-	2回	2回	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	1回
		川と海のクリーン大作戦	一宮市、春日井市、江南市、大山市、愛西市、扶桑町、庄内川河川事務所(報告機関:市町村)	延べ参加人数(人)			実施回数(回)					
				約6,500人	約6,500人	約5,800人	4,573人	-	2,512人	2,221人	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
		・住民と行政が一体となり清掃活動を実施する。	実施箇所数			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数				
			1回	5回	5回	12回	-	-	6回	4回	1回	10回
藤前干潟クリーン大作戦	庄内川河川事務所	延べ参加人数(人)			実施回数(回)							
		1,473人	2,323人	2,376人	7,948人	-	-	2,969人	1,160人	560人	3,023人	
・庄内川下流から藤前干潟までの清掃を行う。	実施箇所数			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数						
	2箇所	2箇所	2箇所	1箇所	12箇所	-	-	1箇所	9箇所	11箇所		
庄内川・新川クリーン大作戦【2018終了】	庄内川河川事務所	延べ参加人数(人)			実施回数(回)							
		2,026人	2,363人	1,649人	2,581人	1,724人	-	-	977人	1,111人	2,683人	
・庄内川・新川沿川(港区)の清掃活動を行う。	実施箇所数			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数						
	9箇所	9箇所	2箇所	1箇所	2回	2回	9箇所	-	-	-		
水生生物調査	高城町、庄内川河川事務所、排水大気環境課(※報告機関:庄内川河川事務所、排水大気環境課)	延べ参加人数(人)			実施箇所数							
		1,189人	1,320人	775人	1,502人	71箇所	69箇所	30箇所	-	-	26箇所	
・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。	実施箇所数			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数						
	805人	1,789人	2,014人	1,781人	1,455人	1,160人	1,020人	-	-	969人		
ネリコロの川(矢田川)を守るプロジェクト【2018終了】	瀬戸市(ネリコロの川を守る会)	延べ参加人数(人)			実施回数(回)							
		-	-	-	-	4回	-	-	-	-		
・地元の河川である矢田川に目を向け、流域全体をネットワークで結び、情報・ノウハウを共有し、その知見等を流域全体の住民に広く広げ、まずは河川に対する関心を高めることが大切であると考え、プロジェクトを結成し、活動を開始。 ・河川堤防の清掃、草刈、堤防植林(緑の回廊)の維持管理、河川に生息する希少生物の保護、地域交流・親水行事・水環境に関するフォーラム等の実施。	実施箇所数			実施箇所数	実施箇所数	実施箇所数						
	-	-	実施箇所:4箇所 延べ参加人数:189人	147人	-	-	-	-	-			

流域名	テーマ区分	指標とする取組	実施機関名(構成員名)	実績								
		取組内容		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
木曾川・庄内川等流域	川・里海づくり	「合瀬川の清流を取りもどす会」の活動	小牧市、大山市、北名古屋市、扶桑町、大口町 (※報告機関:小牧市)	実施回数(回)								
				・生物調査:3回 ・採水調査:2回 ・水辺に親しむ活動:4回 ・河川美化活動:5回	・生物調査:3回 ・採水調査:2回 ・水辺に親しむ活動:3回 ・河川美化活動:5回	・生物調査:3回 ・採水調査:2回 ・水辺に親しむ活動:4回 ・河川美化活動:8回	4回	5回	5回	5回	5回	5回
		水環境目標値市民モニタリング(再掲)	名古屋市	実施箇所数								
				・生物調査:11箇所 ・採水調査:13箇所 ・水辺に親しむ活動:4箇所 ・河川美化活動:5箇所	・生物調査:11箇所 ・採水調査:13箇所 ・水辺に親しむ活動:3箇所 ・河川美化活動:5箇所	・生物調査:11箇所 ・採水調査:13箇所 ・水辺に親しむ活動:4箇所 ・河川美化活動:8箇所	3箇所	3箇所	8箇所	3箇所	3箇所	3箇所
		水環境目標値市民モニタリング(再掲)	名古屋市	モニター登録人数								
				148人	175人	175人	175人	137人	137人	134人	139人	140人
		藩前干潟でのイベントの実施	名古屋市	参加者数(人)								
				延べ3,900人	544人	383人	515人	583人	978人	933人	200人	349人
		魚道環境の調査	(矢田・庄内川にきれいなすま 2017年度まで)	実施回数								
				10回	9回	20回	22回	-	-	-	-	-
船だまり・漁場・稚魚の放流場の整備・清掃	木曾川漁業協同組合	実施箇所数										
		5箇所	2箇所	14箇所	10箇所	-	-	-	-	-		
天白川・山崎川等流域	森づくり	水環境森林育成事業	愛知用水土地改良区	整備面積(ha)								
				0.4ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	-	0.02ha	0.02ha	-	0.02ha
【課題】 ○生態系を含めた周辺環境と調和した環境が求められている。	郷づくり	分収造林の推進	日進市	育樹者参加人数(人)								
				87人	68人	98人	34人	-	-	-	-	-
【目標】 ☆都市を潤し自然と人を育む川 ☆周辺環境と調和した、四季感あふれる散歩道 ○魚が行き交う自然が豊かな川 ○パークウォッシングや水遊びが楽しめる水辺 ○清く潤々と変化がある流れ	まちづくり	合流式下水道の改善	名古屋市	実施内容								
				・きょうぎ物除去装置:24ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーン目幅縮小:4ヶ所(完了)1ヶ所(整備中)3ヶ所 ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中) ・簡易処理高度化施設:1ヶ所(完了)	・きょうぎ物除去装置:13ヶ所(完了) ・ポンプ所スクリーン目幅縮小:3ヶ所(完了) ・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中)	・雨水貯留施設:1ヶ所(整備中)	-	-	-	・ごみ除去装置の設置:4箇所	-	雨水スクリーン目幅縮小1箇所(整備中)
	まちづくり	なごや東山の森づくり	名古屋市	参加者数(人)								
				3,900人	3,600人	4,797人	4,995人	4,943人	4,158人	3,764人	3,108人	3,574人

流域名	テーマ区分	指標とする取組		実施機関名(構成員名)	実績										
		取組内容			2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
					モニター登録人数								モニター登録人数		
天白川・山崎川等流域	まちづくり	水質環境自衛値市長モニタリング(再掲) ・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。		名古屋市	148人	175人	175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季:35グループ142名、 冬季:34グループ140名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	139人	140人	
		湧き水モニタリング(再掲) ・水循環の一つの指標と考えられる湧き水の状況を、市民と協働で把握し、水循環に対する市民の関心を高め、行動へのきっかけとする。		名古屋市	43人	34人	34人	34人	35人	33人	33人	10グループ41名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	47人	47人	
	川・里海づくり	水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		流城市町、黒水大気環境課 (※報告機関:黒水大気環境課)	2箇所	3箇所	3箇所	4箇所	18箇所	19箇所	3箇所	-	-	2箇所	
		水質環境自衛値市長モニタリング(再掲) ・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。		名古屋市	157人	298人	238人	293人	62人	69人	344人	-	-	47人	
	川・里海づくり	水質環境自衛値市長モニタリング(再掲) ・市内の河川、ため池において、透明度、水の色、水におい、ゴミ及び水量(河川のみ)について、市民モニターが年4回調査を実施。 ・調査結果を名古屋市に提出してもらい、それをとりまとめて、名古屋市が公表。		名古屋市	148人	175人	175人	175人	137人	137人	134人	夏季・秋季:35グループ142名、 冬季:34グループ140名参加 ※新型コロナウイルスの影響により春季調査は中止	139人	140人	
		天白・川辺の継続 ・天白川とその流域を中心として、川に親しみ、川に学び、川の課題を知り、自然環境のすばらしさを維持・保全につとめ、川にかかわる生活のたのしきやゆたかさを次世代に伝承する。		名古屋市	-	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川における自然観察会の実施等	天白川で自然観察会等(川遊び、川のゴミ拾い)を実施 市民50名参加(その他、市民団体・職員等18名参加)	天白川で自然観察会等(川遊び、川のゴミ拾い)を実施 市民47名参加(その他、市民団体・職員等21名参加)
	伊勢湾沿岸域(知多半島等)	森づくり	水質環境自衛値市長モニタリング(再掲) ・植樹祭でヒノキの苗の植樹・育樹を行う。		愛知用水土地改良区	0.4ha	0.4ha	0.4ha	0.4ha	-	0.02ha	0.02ha	-	0.02ha	0.02ha
		畑づくり	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		まちづくり	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		川・里海づくり	海岸環境整備事業(坂井海岸) ・砂浜の保全・再生を図るため、突堤の整備や養浜を行う。		県知多建設事務所	62.4m	67.8m	18.9m	-	22.2m	56.0m	20.0m	0m	35.0m	0m
川・里海づくり		水生生物調査 ・身近な自然とふれあうことで、環境問題への関心を高めるとともに広く水環境保全の普及啓発を実施する。		流城市町、黒水大気環境課 (※報告機関:黒水大気環境課)	-	-	-	73.1m	-	-	-	-	-	0m	